

# 流通とSC・私の視点

2012年10月15日

視点(1642)

日本・アメリカ・中国の国際収支!!

(流通経済編)

日本とアメリカと中国の国際収支は次の通りです。

(単位：100万米ドル)

		経常収支	貿易・サービス収支	所得収支	経常移転収支	資本収支	投資収支	その他資本収支	外貨準備増減・その他	誤差脱漏
日本	2006	170,520	63,050	118,150	-10,690	-107,100	-102,340	-4,760	-31,980	-31,440
	2007	210,490	83,500	138,500	-11,510	-191,270	-187,240	-4,030	-36,520	17,300
	2008	156,630	17,340	15,340	-13,050	-178,090	-172,620	-5,470	-30,880	52,340
	2009	142,190	23,250	131,340	-12,390	-135,140	-130,150	-4,990	-26,920	19,870
	2010	195,750	74,860	133,290	-12,390	-135,430	-130,470	-4,960	-43,850	-16,460
アメリカ	2006	-802,640	-759,250	48,090	-91,480	804,980	806,770	-1,790	2,390	-4,740
	2007	-718,100	-702,100	99,550	-115,550	638,660	638,280	380	-130	79,560
	2008	-668,860	-698,800	151,970	-122,030	588,710	582,700	6,010	-4,840	84,990
	2009	-378,430	-374,910	121,420	-124,940	268,100	268,240	-140	-52,180	162,520
	2010	-470,250	-495,730	162,970	-137,490	236,940	237,090	-150	-1,820	235,140
中国	2006	232,746	208,912	-5,365	29,200	52,649	48,629	4,020	-284,651	-745
	2007	353,996	307,477	7,852	38,668	95,148	92,049	3,099	-460,651	11,507
	2008	412,364	348,870	17,695	45,799	46,321	43,270	3,051	-479,553	20,868
	2009	261,120	220,112	7,261	33,748	180,813	176,855	3,958	-400,508	-41,425
	2010	305,374	232,062	30,380	42,933	226,044	221,414	4,630	-471,659	-59,760

出典：総務省統計局「世界の統計2012」

※資本収支の赤字は資本流出、資本収支の黒字は資本流入を意味する。

※外貨準備増減が負の場合は外貨準備の増加、正の場合は外貨準備の減少を意味する。

※経常移転収支とは、政府間の無償補助や国際機関への拠出金など資産の一方的支払である。出稼ぎ外国人の母国への送金、海外留学生への仕送り等。

※国際収支は複式簿記の原理を使って作成されるので、全ての項目を合計すると必ず均衡する。

$$(経常収支) + (資本収支) + (外貨準備増減) + (誤差脱漏) = 0$$

	ポイント
日本	貿易で稼いで、海外からの所得収入で稼いで、海外へ投資を大規模に行い、経常収支は黒字で外貨準備は増大している。
アメリカ	貿易は大赤字で、海外からの所得収入で稼ぎ、かつ海外支援が多くなっている。しかし、巨額の資本がアメリカに流入している。それゆえに、外貨準備は微減である。
中国	貿易で巨額を稼ぎ、世界からの資本が流入し、外貨準備が巨額に増大している。2010年には巨額の貿易収入と資本収入により、47兆円の外貨準備が増大している。

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>+</sup>

代表 六車秀之